



# 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	東京大学(柏II)融合研究実験棟	階数	地上4F
建設地	千葉県柏市	構造	RC造
用途地域	第二種住居地域、法22条区域	平均居住人員	113人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,340時間/年(想定値)
建物用途	学校	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2024年3月 0.0	評価の実施日	2022年10月6日
敷地面積	74,870 m <sup>2</sup>	作成者	内藤建築事務所
建築面積	1,178 m <sup>2</sup>	確認日	2022年10月15日
延床面積	4,263 m <sup>2</sup>	確認者	東京大学



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.7**

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100%  
②建築物の取組み 78%  
③上記+②以外の 78%  
④上記+ 78%

(kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q2 サービス性能: 5  
Q1 室内環境: 3  
Q3 室外環境(敷地内): 2  
LR1 エネルギー: 2  
LR2 資源・マテリアル: 3  
LR3 敷地外環境: 3

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

#### Q 環境品質

**Qのスコア = 3.5**

##### Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.1

##### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.8

##### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.8

#### LR 環境負荷低減性

**LRのスコア = 3.5**

##### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.9

##### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.4

##### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.0

3 設計上の配慮事項		
<b>総合</b> 外壁と屋根に十分な断熱を施し、建物の1次エネルギーの削減に努め、外装ルーバーを設置することで、日射遮蔽にも配慮している。	<b>その他</b> 再生木・プラスチック複合デッキ材を使用し、使用者が外部を感じることが出来るデッキ空間を最上階に設け、採光や通風に配慮した。	
<b>Q1 室内環境</b> 室用途に合わせて、適切に開口部を配置し、室内への熱負荷を軽減することで、使用者の作業環境の向上に努めた。	<b>Q2 サービス性能</b> 建物の安全に配慮した構造設計を行いつつ、十分な天井高さを確保し、開放的な室内環境とした。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> キャンパス内の景観に合わせた外構計画とし、周囲に圧迫感のない外観デザインとした。
<b>LR1 エネルギー</b> LED照明器具の採用と人感センサの採用により、消費電力の低減を行った。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 再生可能資材を使用し、環境に配慮した計画とした。	<b>LR3 敷地外環境</b> 屋上に設置した設備機器の騒音が周囲に影響を与えないよう、目隠しを設置し、機器配置にも配慮した。車道外灯配置はキャンパスの外灯配置計画と整合させ、駐車場車路の外灯配置は照度基準を満足するよう配置した。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

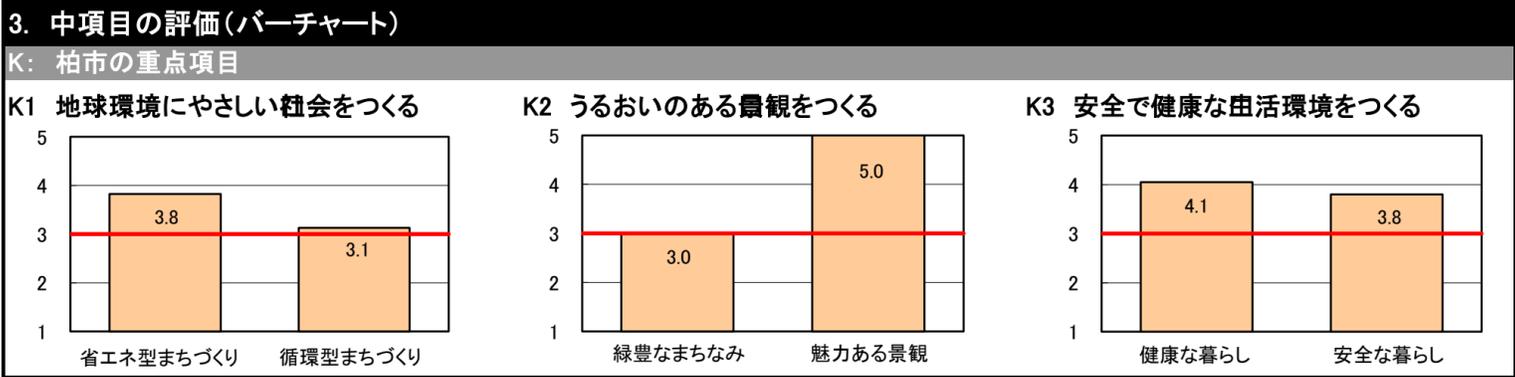


# 評価結果

■使用評価マニュアルCASBEE-建築(新築)2016年版 ■使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v3.0)

1 建物概要			
建物名称	東京大学(柏Ⅱ)融合研究実験棟	建築物の環境効率 (BEEランク)	A ★★★★★

2 重点項目への取組み度			
重点項目	取組み度 ※ (得点/満点)		評価結果
K1 地球環境にやさしい社会をつくる	3.4 / 5.0	ふつう	
K2 うるおいのある景観をつくる	4.0 / 5.0	すばらしい	
K3 安全で健康な生活環境をつくる	3.9 / 5.0	ふつう	
※ 対応するCASBEEのスコアと主な指標を元に、独自に設定された条件で評価をします。(左記は評価結果の凡例)	すばらしい 4点以上	ふつう 3点以上	がんばろう 3点未満



4. 設計上の配慮事項	
<p><b>K1 地球環境にやさしい社会をつくる</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>断熱性能を高めて省エネ型まちづくりに配慮する</li> <li>廃棄物保管スペースの確保や分別回収容器の設置により循環型まちづくりに配慮する</li> </ul>	<p><b>スコアシート</b></p> <p>1. 省エネ型まちづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1.1 建物の熱負荷抑制(LR1-1) スコア <b>5.0</b></li> <li>1.2 自然エネルギーの利用(LR1-2) スコア <b>3.0</b></li> <li>1.3 設備システムの高効率化(LR1-3) スコア <b>4.4</b></li> <li>1.4 効率的な運用(LR1-4) スコア <b>2.0</b></li> </ul> <p>2. 循環型まちづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>2.1 雨水利用・雑排水再利用(LR2-1.1) スコア <b>3.0</b></li> <li>2.2 雨水排水負荷抑制(LR3-2.3.1) スコア <b>3.0</b></li> <li>2.3 非再生性資源の使用量削減(LR2-2) スコア <b>3.5</b></li> <li>2.4 廃棄物処理負荷抑制(LR3-2.3.4) スコア <b>3.0</b></li> </ul>
<p><b>K2 うるおいのある景観をつくる</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>緑地を可能な限り豊富に設け敷地内のみどり豊かなまちなみに配慮する</li> <li>緑地による良好な景観を形成することで魅力ある景観に配慮する</li> </ul>	<p><b>スコアシート</b></p> <p>1. 緑豊かなまちなみ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1.1 生物資源の保全と創出(Q3-1) スコア <b>3.0</b></li> </ul> <p>2. 魅力ある景観</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>2.1 まちなみ・景観への配慮(Q3-2) スコア <b>5.0</b></li> <li>2.2 水空間の創出 設置の有無 <b>-</b></li> <li>2.3 道路沿いの緑化 緑視率の確保 <b>-</b></li> </ul>
<p><b>K3 安全で健康な生活環境をつくる</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>バリアフリー新法の円滑化基準を満足することにより、健康な暮らしに配慮する</li> </ul>	<p><b>スコアシート</b></p> <p>1. 健康な暮らし</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1.1 空気質環境(Q1-4) スコア <b>4.1</b></li> <li>1.2 バリアフリー計画(Q2-1.1.3) スコア <b>4.0</b></li> </ul> <p>2. 安全な暮らし</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>2.1 耐震・免震(Q2-2.1) スコア <b>3.8</b></li> <li>2.2 防犯対策 防犯性の配慮 <b>-</b></li> </ul>